

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市バイオマスタウン推進協議会
2 開催日時	平成31年2月1日（金）14:00から
3 開催場所	河内長野市立市民交流センター 3階 会議室2
4 会議の概要	1. 河内長野市バイオマスタウン推進計画に掲げる各項目の進捗について （1）タケの利活用 （2）廃食用油の利活用 （3）木質の利活用 2. その他
5 公開・非公開の別 （理由）	公開
6 傍聴人数	3人
7 問い合わせ先	（担当課名） 環境経済部 環境政策課 （内線 415）
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

平成 30 年度第 2 回 河内長野市バイオマスタウン推進協議会 議事要旨

開催日時：平成 31 年 2 月 1 日(金), 14:00～14:45

開催場所：河内長野市立市民交流センター会議室 2

〔出席者〕 (省略)

次第

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 河内長野市バイオマスタウン推進計画に掲げる各項目の進捗について<ol style="list-style-type: none">(1) タケの利活用(2) 廃食用油の利活用(3) 木質の利活用2. その他 |
|---|

開会

開始時間になり、会長あいさつの後、議題に入った。

議題

1. 河内長野市バイオマスタウン推進計画に掲げる各項目の進捗について

(1) タケの利活用

①タケコンポスト共同研究の経過報告

今年度、農業機械メーカーからタケを粉砕するための粉砕機（試作機）を借りて、作業の効率化を検討している。詳しくは、午後 3 時より大会議室で開催するタケコンポスト研究成果報告会で報告する。

(2) 廃食用油の利活用

①自治会と連携した戸別回収事業について

今年度は、3 月に南青葉台自治会と連携して実施する予定である。

②利活用方法の多様化について

今年度は天候の影響で SVO 発電機の使用を予定していたいくつかのイベントが中止になった。2018 年の上半期に回収した廃食用油が約 1,200 kg あり、薬用ハンドソープ（300ml）12 本と交換できた。

(3) 木質の利活用

①バイオマス発電所の見学

9/13（木）に大阪府内で木質バイオマス発電事業を行っている（株）BPS 大東を見学した。そのときの資料に基づき、事務局より説明を行った。

②森林組合の取組み

木根館に薪ストーブを導入した。来館者に体感してもらえらることと、（株）憩暖とともに PR イベント等を実施していく予定。

③NPO 法人森林ボランティアトモロスの活動

森林ボランティアトモロスの活動が評価され、平成 30 年度全国育樹活動コンクールにおいて、林野庁長官賞を受賞した。今年度は、過去に見学させていただいたキセイテック

に杉玉の廃棄物や間伐材を搬入し、精油の材料として活用した。

【意見等】

- ①タケコンポストの共同研究は一定の方向性が示されており、バイオマスタウン推進協議会ではなく、市で臨時機構を設けて事業化の検討をしていく時期に入っていると思われる。
- ②ハンドソープを製造するのにどの程度の廃食用油が必要なのか分かれば教えてほしい。⇒調べておく。
- ③バイオマス発電や小水力発電などの事業に対して国の補助金があれば積極的に活用してはどうか。

2. その他

(1) バイオマスタウン推進協議会の廃止について

バイオマスの利活用を推進するため平成 21 年に設置したバイオマスタウン推進協議会であるが、①国の補助事業が終了していること、②バイオマスタウン構想を見直し、具体的な方向が示されたこと、により当初の設置目的を達成したと思われる。本日の会議をもってバイオマスタウン推進協議会を廃止する旨を事務局より説明したところ、出席委員から異議なく同意いただいた。廃止に係る手続は事務局で行う。

閉会